

# 技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

## 事業実施報告書【インドネシア】

担当講師	西谷 賢二 (パナソニック株式会社)
実施期間	2020年2月17日(月)～2020年2月20日(木)
実施場所	インドネシア共和国・ジャカルタ首都特別州 PT KMK PLASTICS INDONESIA
研 修	技能評価者講習 (SAT)、技能評価トライアル (SET)
実施職種	CAD 製図3級

2020年2月

## 結果概要

1. 対象者数： SAT 受講者数 8 名 / 修了者数 8 名  
 SET 評価者数 8 名、 受検者数 22 名 / 合格者 11 名

### 2. 日程

日時	指導内容
2月17日(月) 8:30~16:00	<b>【技能評価者講習 (SAT) 1 日目】</b> 開講式 ・ 技能評価システム移転促進事業の概念説明 ・ 今回の指導体制説明 ・ 受講者自己紹介 講習 (午前) ・ 技能評価者の役割と責務 ・ トライアル作業手順解説 講習 (午後) ・ 評価者の職務解説 ・ 評価者チェックシート説明 ・ トライアル運営方法
2月18日(火) 8:00~17:30	<b>【技能評価トライアル (SET) 1 日目】</b> 8:00-8:40 課題図説明 8:40-10:10 トライアル (休憩 10 分) 10:20-11:50 トライアル 11:50-12:10 解答図出図 (昼食・休憩) 13:00-13:40 課題図説明 13:40-15:10 トライアル (休憩 10 分) 15:20-16:50 トライアル 16:50-17:10 解答図出図 17:10-17:30 後片付け、整理整頓
2月19日(水) 8:00~16:00	<b>【技能評価者講習 (SAT) 2 日目】</b> ・ 採点概要説明 ・ 採点項目及び配点 ・ 採点の原則 ・ 失格条件説明 ・ 図形作成及び表示 (実線、破線をどう採点するのかを目合わせ) ・ 寸法等の記入 (記入ミス、その他寸法をどう採点するのかを目合わせ) ・ 表題欄 (減点対象の説明) ・ 図面のみばえ (3つの視点の目合わせ) ・ 特別採点 (減点対象の説明) ・ 上記採点項目について、実際の解答図を基にケーススタディ ・ 採点表の記入方法説明 ・ 効率的な採点テクニックの説明 ・ Q&A

2月20日(木) 8:00~16:00	<b>【技能評価者講習 (SAT) 3日目】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・失格者の確認</li> <li>・採点帳票確認及び段取り説明</li> <li>・間違いやすいポイントを個々に説明</li> <li>・2人1組4チームに分かれて採点</li> <li>・図面のみばえは3人1組で採点</li> <li>・得点集計</li> <li>・採点后、全員で全て再確認(特に合格ライン上の解答図に対し)</li> <li>・後片付け、整理整頓</li> <li>・記念写真</li> </ul>
------------------------	--

### 3. 講評

#### ■技能評価者講習

事前訓練で成績の良かったメンバーを中心に選出いただいたため、図面の読解力に対するリスクは少なかった。そのため、事前講習も高次元での質疑応答ができ、理解度を深めることができた。苦労したのは、作図ルールはあくまでJISに則ったルールを適用するため、社内ルールは通用しないということ。今後、どこまでそのルールが緩和できるのかが、継続課題となる。

#### ■トライアル実施

22人受検いただいたが、採点対象外とした人数が比較的多かったのは、非常に残念。各企業においては、指導方法や練習課題の充実が今後の課題となる。既に過去他業種で会場借用していたため、今回の試験環境も申し分なかった。今後、他会場で実施する際の参考にしたい。

#### ■今後の課題

評価者講習や競技課題など、すべて現地語に翻訳した資料のデータを、必ず提供して欲しい。プロジェクターに投影し説明をする場合があるので、宜しくお願い致します。

今回、課題図が原寸通り描かれているのかどうかの事前確認が漏れていた。実際縮尺が掛かっていたため、急遽その場にあったプリンターを使って拡大コピーし対応できたが、もしプリンターがなければトライアルが実施できない状況にあった。今後、必ず課題図には何らかのXYの寸法を記入し、事前に寸法確認する。

トライアル課題は当日公開が基本だが、今回は問題文だけが受験者に事前配布されていた。初めての試験なので問題にはならなかったが、次回以降は決して事前配布しないよう配慮すること。

### 4. 受講者へのアンケート結果

<SAT>

◆受講者10名(回答者10名)(受講者8名 + サポーター2名)

満足度	: 大変満足	=5人	満足	=5人	どちらともいえない	=0人
役立ち度	: 大変役立つ	=4人	役立つ	=4人	どちらともいえない	=2人
継続期待度	: 是非とも継続すべき	=5人	継続すべき	=5人	どちらともいえない	=0人

【改善点・提案】

- ・議論するための時間と事例がもっと必要。
- ・よい評価を得るためには評価の前にトレーニングが必要。
- ・研修期間が短すぎる。
- ・試験の前に技術標準のトレーニングが必要。

【意見・感想・実施希望】

- ・2021年の世界大会に向けた製図のトレーニングを実施してほしい。
- ・機械製図の詳細について学びたい。
- ・CAD製図2級を実施してほしい。
- ・3D CADの研修を実施してほしい。
- ・練習結果は受検者が自分の弱点を知ることが出来るよう受検者にフィードバックしてほしい。

◆現地責任者

継続期待度：是非とも継続すべき=1人 継続すべき=2人

【改善点・提案】

- ・本年度と同じくCADを行ってほしい。
- ・LSP-LMIの承認が必要。
- ・同じコンピュータが用意されているコンピュータールームが必要。

【意見・感想・実施希望】

- ・CNCプログラミングおよび認定

<SET>

◆評価者11名(回答者11名)(評価者8名 + サポーター3名)

満足度	： 大変満足	=2人	満足	=9人	どちらともいえない=0人
役立ち度	： 大変役立つ	=5人	役立つ	=6人	どちらともいえない=0人
向上度	： 大変向上した	=6人	向上した	=4人	どちらともいえない=1人
継続期待度	： 是非とも継続すべき	=5人	継続すべき	=5人	どちらともいえない=1人

【改善点・提案】

- ・議論するための時間と事例がもっと必要。
- ・トライアルの前に、実施要領に関する確認および説明が必要。
- ・3D CADの研修を実施してほしい。
- ・課題とトライアル終了後の議論が必要。
- ・試験の前に技術標準のトレーニングが必要。

【意見・感想・実施希望】

- ・CAD製図2級も行ってほしい。
- ・練習結果は受検者が自分の弱点を知ることが出来るよう受検者にフィードバックしてほしい。
- ・製図の理解のための更なる練習。

◆受検者22名(回答者22名)

満足度	： 大変満足	=7人	満足	=14人	どちらともいえない=1人
役立ち度	： 大変役立つ	=10人	役立つ	=11人	どちらともいえない=1人

継続期待度：是非とも継続すべき =11人 継続すべき =10人 どちらともいえない=1人

**【改善点・提案】**

- ・授業を増やしてほしい（試験前のトレーニングも含む）。
- ・評価が明確に理解されるべきで書面に記載されているべきである。
- ・設備(コンピュータ)に関して、施設に配置をすべき。
- ・ドラフトサイトのソフトウェアの使用許可がほしい。
- ・研修で使用したテキストがほしかった。
- ・PC とソフトウェアが試験会場に用意されるといい。PC 持ち出しやソフトウェアのインストールが難しい。
- ・試験の前にトレーニングをしてほしい。

**【意見・感想・実施希望】**

- ・溶接
- ・金型保全
- ・3D CAD 2 級、1 級
- ・CAD 製図 2 級
- ・金型成形
- ・3D CAD 設計 (4 名)
- ・2D CAD の基本標準 (自分の生徒に教えているため)
- ・競技大会のための製図を実施してほしい。
- ・ダイカスト図面だけでなく、金型図面や部品図面等も実施してほしい。

**◆現地責任者**

継続期待度：是非とも継続すべき=1人 継続すべき=2人

**【改善点・提案】**

- ・今年に続き CAD 製図 3 級。
- ・3D CAD の認定。
- ・CNC プログラミングの認定。
- ・研修前にトレーニングの日程の詳細情報がほしい。
- ・実際のシミュレーションでは、3 名の評価者で全項目のチェックを行う。

**【意見・感想・実施希望】**

- ・技能維持のためにこのような試験をもっと頻繁にやりたい。